



友の会だより No.36

(2018年6月25日発行)

自転車文化センター

〒141-0021 東京都品川区上大崎 3-3-1

TEL 03-4334-7953 / FAX 03-4334-7958

Email bccask@jifu.jp

OPEN 9:30~17:00 (最終入館 16:45)

CLOSE 月曜日(祝日の場合は翌平日)・年末年始

## 平成30年度自転車文化センター第2回テーマ展示

～開催告知～

### 【多機能自転車展】開催

- ◆開催期間：平成30年7月4日(水)～10月14日(日)
- ◆開催場所：自転車文化センターギャラリー・ライブラリー
- ◆開催時間：9:30～17:00 (最終入館16:45)
- ◆入館料：無料
- ◆展示内容：自転車利用者の多くの方にとって、通勤・通学・買い物と日常生活での利用が中心で「ママチャリ」と呼ばれている軽快車が主流ですが、世界には今までにない新しい機能を持った自転車や、高度な技術を持った競技用自転車など多岐にわたっています。そんな普段目にする事のない自転車を多数展示いたします。皆様のご来館お待ちしております♪



【ペダルを回転させないで踏み込む自転車】



【ハンドルを手で回転して進む自転車】



【ハンドルが360度回転する自転車】

## 『夏休み自転車教室』

平成30年度自転車文化センター

『夏休み自転車教室』を開催いたします！！

- ★開催日：平成30年8月11日(土・祝)
- ★開催場所：自転車文化センターライブラリー・アーカイブ
- ★教室内容：①「自転車乗り方教室」 ②「自転車の歴史教室」  
③「自転車の科学教室」 ④「自転車分解教室」
- ★対象者：①幼児から小学校低学年 ②中学生  
③小学生 ④小学校高学年から中学生

※なお、応募方法等詳しい詳細は、1ヶ月前よりBCCHP等にて告知する予定です。

♪皆様のご参加お待ちしております♪

## 寄贈資料の紹介

- ・吉田満様（群馬県）
- ・高橋忠男様（愛知県）

自転車関係雑誌『a to b』2008年から2014年 計37冊  
自転車マーク36点・自転車シール6点・フレーム1点・  
チェーンケース1点・工具1点 計45点

自転車文化センターでは、寄贈された貴重な資料を大切に保管し、テーマ展示等を通じてご覧いただける機会を設けております。

### 「BCC友の会」会員募集中♪

自転車に関する書籍など、約11,500冊を所蔵しています。会員登録をいただいた方に限り、図書  
の自由閲覧をすることができます。  
会員各位におかれましては、ご友人様などご紹介頂  
けたら幸いです。

### 「BCC友の会1日利用システム」♪

現在、皆様にもっと当センターを活用して頂きたく【1  
日ご利用システム】を設置しております。  
是非、ご利用してみたいかがでしょうか!?  
ご利用の詳細は、BCCHP又はBCCまでお問い合わせ  
下さい。

### ♪BCC休館日のお知らせ♪

★月曜日休館〔祝・祭日の場合は翌平日〕

7月2日・3日(火)臨時休館・9日・17日(火)・23日・30日

8月6日・13日・20日・27日

9月3日・10日・18日(火)・25日(火)

10月1日・9日(火)・15日・16日(火)臨時休館・22日・29日

### ～友の会会員証有効期限のお知らせ～

平成28年4月から2年が経過し『会員証』更新時期となりました。つきましては、入会日から2年間、  
ご来館のない場合は、無効となりますのでご注意ください。また、再入会の際は、新たに入会手続きが必要  
となります。なお、有効期限など不明の場合は、BCCカウンタースタッフまで、お問い合わせ下さい。

自転車文化センターにご来館の際は、必ず会員証をカウンターまでご提示ください♪



## 新着図書のご案内

- 「グランプリ」(高千穂遥 著/早川書房)  
「すべてがわかる!ロードバイクメンテナンス入門」(コスミック出版)  
「18ロードバイクオールカタログ」(柘出版社)  
「折りたたみ自転車&スモールバイクCUSTOM/愛車をもっと思い入れあるものにCUSTOM2018」(辰巳出版)  
「じてんしゃのれるかな」(平田利之 著/あかね書房)  
「弱虫ペダル54」(渡辺航 著/秋田書店)  
「弱虫ペダルSPARE BIKE4」(渡辺航 著/秋田書店)  
「BICYCLE PLUS Vol.22/輪行しよう!キホンから裏ワザ、最新輪行アイテムも紹介」(柘出版社)  
「MOUNTAINBIKE ACTION 33-2」  
「2018ロードバイクインプレッション/BICYCLE CLUB 別冊」(柘出版社)  
「競輪文化/「働く者のスポーツ」の社会史」(古川岳志 著/青弓社)  
「MTB日和 Vol.46」(辰巳出版)  
「ロードバイクツーリング完全ガイド/ロードで旅するノウハウとコース保存版!」(柘出版社)  
「箕五郎のヒルクライム強化書/40歳からでも強くなる!坂バカのためのトレーニング」(柘出版社)  
「ロードバイクホイール徹底インプレッション2018」(洋泉社)  
「ロードバイクベストバイ2018/厳選2018年モデル140台+α」(八重洲出版)  
「MOUNTAINBIKE ACTION 33-3」  
「2018ロードバイクパーツカタログ」(柘出版社)  
「18-19最新ロードバイク購入完全ガイド」(コスミック出版)  
「MOUNTAINBIKE ACTION 33-4」  
「MTB&パーツカタログ2018/走りが楽しくなるバイク&パーツが勢ぞろい」(柘出版社)  
「ケイリン468番手勝負/カリスマ車検師の予想法」(浦田大輔 著/三恵書房)  
「クロスバイクスタートBOOK2018/欲しい1台が必ず見つかる!ブランド&シリーズ別最新」(コスミック出版)  
「スマイリング!/岩熊自転車 関口俊太」(土橋章宏 著/中央公論新社)  
「ミーの黄色い自転車」(稲本ミノル/Chico 著/文芸社)  
「Bicycle Style12」(笠倉出版社)  
「50歳を過ぎたら「輪行」しよう!増補版/実践!自転車旅行達人へのステップアップ」(小林健一 著/彩流社)  
「ニッポンのじてんしゃ旅Vol.03/つくば霞ヶ浦りんりんロード完全走破!いばらきサイクリング」(八重洲出版)  
「ニッポンのじてんしゃ旅Vol.04/とびだせ、ピワイチ!滋賀・びわ湖サイクリングガイド」(八重洲出版)  
「MOUNTAINBIKE ACTION 33-5」  
「MTB日和 Vol.33/日本のマウンテンバイカー一斉調査!~トレイル編~」(辰巳出版)  
「京都を走る自転車BOOKロングライド版/京都・滋賀・北摂」(環境市民 著/西日本出版)  
「美麗島・台湾自転車紀行」(神谷昌秀 著/ブイツーソリュ)  
「最強ホビーレーサー6人が教えるロードバイクトレーニング」(ロードバイク研究会 著/日東書院本社)  
「ルールと見どころ!オリンピック・パラリンピック全競技①/陸上競技・自転車競技」(日本オリンピック・アカデミー 著/ポプラ社)  
「ルールと見どころ!オリンピック・パラリンピック全競技⑥/パラ陸上競技・車いすテニス」(日本オリンピック・アカデミー 著/ポプラ社)  
「BICYCLE PLUS Vol.23/バイクパッキングベストセレクション」(柘出版社)  
「折りたたみ自転車&スモールバイクカタログ2018/運命の1台が見つかる!小径車選びの必読書」(辰巳出版)  
「弱虫ペダル55」(渡辺航 著/秋田書店)  
「かわうその自転車屋さん5」(こやまけいこ 著/芳文社)  
「自転車日和Vol.47」(辰巳出版)  
「じてんしゃがしゃがしゃ」(かさいまり/山本久美子 著/絵本塾出版)  
「じてんしゃと泊まる宿」(ガイドワークス)  
「弱虫ペダル56」(渡辺航 著/秋田書店)  
「MOUNTAINBIKE ACTION 33-6」  
「2018-2019サイクルパーツオールカタログ/約6,300点掲載」(八重洲出版)  
「ピワイチ!/自転車で琵琶湖一周」(横山充男/よこやまようへい 著/文研出版)

## 科学技術館入館チケット(招待券)プレゼント!

科学技術館(千代田区北の丸公園)「2F自転車広場」には、当センター所蔵の歴史的自転車などの常設展示を引き続き行っております。ぜひお立ち寄りください。

♡友の会会員の方に科学技術館入館チケット(招待券)を先着10名様(お一人様2枚まで)に差し上げます。

[自転車文化センター\(目黒\)にご来館のうえ、インフォメーションカウンターまでお申し出ください。](#)

# 「この道 どうなっているの？」

BCC学芸員 谷田貝一男

自転車を利用していると、「あれ！この道どうしてこうなっているの？」「ここはどこを通ればいいのか？」など少し首を傾げたり不思議に思ったりする道や「特に注意して通行しないと危険だな！」と思う道に出会うことがありますので、そのような道を紹介します。尚、各写真には撮影年月を記載しました。現状と異なっている可能性がありますので、この点をご容赦願います。

## 1. 歩行者はどこを通行すればよいのかな？ 東京都小平市 (2018年5月撮影)

小平市には市内をほぼ一周する約20kmのグリーンロードがあります。このグリーンロードは玉川上水、野火止用水、都立小金井公園を結ぶ写真1のような緑の中の道で、通勤通学の他に休日はサイクリングを楽しむ人も多くみられます。

このグリーンロードを時計と反対周りに小金井公園から花小金井駅方向に進むと、ある交差点の手前で遊歩道を遮るように柵が設置されているのです(写真2)。このため、歩行者は赤信号のときは右側の自転車道と思われる位置で立ち留まり、青信号になると歩行者と自転車が混在しながら横断せざるを得ないのです。



写真1



写真2

## 2. 歩行者はどこを通行すればよいのかな？ ドイツ・ミュンヘン市 (2013年11月撮影)

ドイツは自転車専用の通行路が充実しており、写真3のような歩道と車道の間幅2mほどの自転車通行路が設けられています。このようなミュンヘン市内でも歩行者はどこを通ればよいのかな？と思う箇所もあります。写真3の自転車通行路を進むと写真4の箇所近づきます。この写真4の自転車通行路の先を見ると建物の関係で歩道がなくなっています。この箇所に来ると自転車専用の標識が設置されています(写真5)が、歩道がないため歩行者はこの自転車通行路を通らざるを得ないのです。歴史的な建物が多い街のため、その建物を壊してまで歩道を造ることはしないのでしょうか。



写真3



写真4



写真5

## 3. 歩行者はどこを通行すればよいのかな？ オランダ・アムステルダム市 (2013年11月撮影)

オランダのアムステルダム市は自転車専用の通行路がミュンヘン市以上に充実しています。写真6はアムステルダ

ム駅近くの自転車通行路で、双方向通行ですが車道、歩道のいずれからも完全に分離されています。このようなアムステルダム市内でも歩行者はどこを通ればよいのかな？と思う箇所があります（写真7、写真8）。いずれも小さな建物が歩道上にあるため、歩行者は自転車通行路を通らざるを得ません（写真9）。このため日本の歩道のように自転車と歩行者が混在しながら通行しています。



写真6



写真7



写真8



写真9

#### 4. 自転車の通行を遮るもの 埼玉県新座市 (2011年5月撮影)

自転車は車道の左端を通行するのが原則です。しかし、自転車歩道通行可の標識がある歩道では自転車も通行することが出来ますが、車道寄りを通りしなければなりません。この歩道には自転車歩道通行可の標識があり、しかも自転車通行帯と歩行者通行帯に区分するために路面に色分けがされています（写真10）。そこでこの歩道を徐行しながら自転車通行帯と思われる色の部分を進むと、バス停があるため真直ぐに進むことが出来ません。写真11の方向から進むときは車道に出ればよいのですが、反対方向から進んできたときは自転車から降りざるを得ません。



写真10



写真11

#### 5. 自転車と歩行者はどこを通行すればよいのかな？ 東京都杉並区 (2015年10月撮影)

歩道とは段差で車道とは柵で区切られた通行路が片側に、反対側は白線だけの路側帯となっている道路です。車道は一方通行ですがバスも通ります。このような道路で大木が歩道の通行を遮っている箇所があります（写真12）。このため、この箇所に来ると歩道を通っていた歩行者はどうしても柵で区切られた通行路を通らざるを得ません。このような状況から、自転車も白線だけの路側帯を通行する人（写真13）、車道を通りする人（写真14）、柵の中の通行路を通行する人（写真15）と様々です。歩行者も同様です。



写真12



写真13



写真14



写真15

6. これでは歩行者は歩道を通行することができません 東京都武蔵野市 (2013年11月撮影)  
 歩道があるにも関わらず駐車禁止の看板が歩道上に置いてあるため、この歩道を歩行者が通行することができません(写真16)。したがって歩行者は路側帯らしき場所を通らざるを得ませんが、自転車にとっても歩行者にとっても危険な状態が発生しています(写真17)。



写真16



写真17

7. 歩行者にとっては通行しにくい歩道 オランダオス市 (2013年11月撮影)  
 オランダは地方都市でも自転車専用の通行路は充実しています(写真18)。その反面、写真19のように道幅が狭く、しかも中央に街頭のポールが一定間隔で何ヶ所も設置されているため歩行者にとっては通行しにくい歩道もあります。ベビーカーの通行は無理です。



写真18



写真19

8. 高齢者には転倒の危険がある自転車通行帯 埼玉県志木市 (2017年11月撮影)

自動車の通行量が多い県道で、歩道は幅が比較的に広いので自転車通行帯と歩行者通行帯に区別されています(写真20)。しかし写真21のように場所によっては路面のその後の整備が十分ではないため、通行帯の区分を示す路面の色が退色し、ひび割れが発生しています。このため、高齢者が徐行しながらここを通行すると転倒の危険があります。



写真20



写真21

9. どうしてここだけ自転車通行路があるのかな? 東京都文京区 (2018年5月撮影)

文京区内の住宅地の道路には写真22のように、歩道とは段差で車道とは柵で区切られた自転車通行路があります。ところがこの通行路は片側だけでしかも延長約150mしかなく、その先は歩道がなく手前は写真23のようにやや広い歩道だけになっています。写真22の箇所は従来、歩道はなかったのですがこの脇にマンションが建設された際に左端の歩道部分が新たに設置されたのです。



写真22



写真23

10. 自転車通行路が消えた? 東京都三鷹市・武蔵野市 (2015年2月撮影)

中央線武蔵境駅南口から東八通りまでの間を結ぶ約2kmのかえで通りがあります。この通りには歩道とは植栽もしくは段差で、車道とは柵でそれぞれ分離された自転車専用の通行路があります(写真24)。東八通りの丁字路側からこの自転車通行路に入って進むと駅前広場手前約200mのところまで自転車通行路がなくなり、車道と歩道だけになります(写真25)。そのまま車道の左端を通行しようと思っても柵があるため車道を進むことが出来ず、歩道へ誘導されてしまいます(写真26)。なぜここで自転車通行路が消えてしまうのでしょうか。



写真24



写真25



写真26

11. 道路端が低地で運転操作を間違えると転落する危険があります 埼玉県川越市・東京都調布市  
(2017年9月撮影・2017年11月撮影)

道路脇が低地になっているという道路(写真27、写真28)では、特に雨天時や後方から自動車の接近時に注意して運転しないと転落し、時には死亡する事故も発生しています。



写真27



写真28

12. 路側帯を通行しない自転車利用者が多い道 神奈川県平塚市 (2018年1月撮影)

歩道のない道路の端に白線で区切られた帯状の道路の部分路側帯と称し、歩行者の通行並びに車道の効果を高める目的で設置されています。自転車は著しく歩行者の通行を妨げるときを除きこの路側帯を徐行しながら通行することが出来ますが、歩行者が通行していても路側帯を徐行しないで通行する自転車が後を絶ちません。ところが、路側帯の脇の車道側に自転車の通行標示を示す路面標示の効果で、ほとんどの自転車が路側帯を通行していません(写真29、写真30)。



写真29



写真30

**自転車文化センターは、競輪の補助を受けて事業を行っております。**